

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターひかりの子（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年12月4日 ～ 2024年12月25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2024年12月4日 ～ 2024年12月18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	19
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重症心身障害のある児童の受入ができる体制がある。 医療的ケアのある児童の受入を行っている。	・医療的ケアが安全にできるように看護職員の配置、医療体制を整えている。	・重症心身障害のある児童の積極的な受入を継続。
2	個別活動を中心とした保育・療育を実施している。	・児童の障害を把握して、発達段階に合わせた活動計画を立案、多職種による検討を経て活動を提供している。	・障害の理解のための学習や事例検討など実施する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員への情報伝達が十分でない。	・複数の兼務職員での配置であるため、職員間で直接情報伝達できない場合が多く不十分になりやすい。	・電子記録システムの機能を活用して利用者情報の共有を行う。 ・社内の情報伝達ツールを活用して、事業所の取組み等を管理する。
2	活動プログラムの立案が固定メンバーでできていない。	・複数の兼務職員での配置であるため、立案の会議等に参加できる職員が日々変動する。	・主担当職員を決めて継続して支援をして活動プログラムの立案等に参画できるようにする。
3	研修機会が少ないと職員が感じている。	・全員参加の通所職員研修は年1回実施しているが、病院内や施設内の研修会や勉強会への参加については自由参加としているため、時間の都合がつかないなど参加機会が少ない。 ・外部研修への参加への人力的余裕がない。	・勤務内で短時間でできる学習会、研修など企画して参加を増やす。 ・病院内や施設内での勉強会等の情報提供を継続する。